全面的接近

沙江

送は一

を中心とする

(日 個 土)!

島總裁に一任することに決 での他については挙げて中 をの他については挙げて中 をの他については挙げて中

世間ではわが進か解激を 東郷幹事長 近衛公の新政 治體制に軽處して解儀する るところであるが如く誤解し ころであるが如く誤解し であるやりだが如何 であるであるが如く誤解し であるかが進さ

心總務會

「東京設國通」新政治監制 ・ 大田を鮑町饗亭に會合し ・ 大田を鮑町饗亭に會合し ・ 大田を鮑町饗亭に會合し ・ 大田を鮑町饗亭に會合し ・ 大田で観りを聴収し た後種々懇談を重ね同九時 ・ 大谷種々懇談を重ね同九時

本間題に對する黨内の情勢は相當複雑微妙なるもの 二次 使つて來る廿日のあり、使つて來る廿日の素大會に代るべき聯合會に代るべき聯合會に代るべき聯合。 して黨内强便 は注目される

最近の事情を中心に新内閣の外交經濟政策の根本方針 確立に関し重要進言を行つ た、右は近衛公が同日午後 から開かれる最高國策會議 に臨むに先立ち各方面の憲 に臨むに先立ち各方面の憲

鮨川總裁近

民政黨有志大會

20日 22日 會場 5階ギャラリー

日九十月七

果條中將、畑陸相ご會談 邸に入り畑陸相と會見約州分にわた『東京發國通』東條英機中將は十九 九日午後三時より荻窪の近衛邸に の続き阿南大官、武巌のたり今回の政變の事

米を週内食組上が組

正は

問題に関し

で、反對を表明してゐる しかして木村法相に後任金 を表析阪廣政氏を起用する で、一致をみた で、一致をみた で、一致をみた で、一致を表れた で、一致を、

村總長事

薦

東上の途中天候不良のため東上の途中天候不良のため東上の途中天候不良のため東上に變更した。

根本國策決定すれ

◇…再び時代の脚光を浴びて生れ出ようとしてゐる近 衛内閣の壽命はどうか、日本の内閣の壽命はどうか、日本國民は勿論東亜に新しい 秩序を打ち立てようとしてゐる流

してをり木村法相は十元 抱いてゐるか重大關心を 抱いてゐるか重大關心を

(下關發國通)

通一州發東上

星野長官

電3-5243

【○○岳四十八日發國通】 今津部隊の指揮する陸鷲○ 人を連び、東端を急襲ガリリン艦を満載して運行中の敵と 大ラック約五十臺に的確な とのである。 大きなのが、東端を急襲ガリリンのである。 大きなのが、東端を急襲ガリリンのである。 大きなのが、東端を急襲ガリリンのである。 大きなのが、東端を急襲ガリリンのである。 大きなのが、東端をある。 大きなのが、東端を急襲ガリリンのである。 大きなのが、東端をある。 大きなのが、東端を急襲ガリリンのである。

海、

陸物產直輸入商

往

來

A

東西

物產洋

省連

東亜新秧では深速ある。 東亜新秧では深速ある。 東亜新秧では深速ある。 東亜新秧では深速ある。 東亜新秧では深速ある。 東亜新秧では深速ある。 東亜新秧での外交でおり、 でいる。 でいるといる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

れ同さでは を確立するため を確立するため を確立するため にある。 を確立するため にある。 には、 のとで、 をである。 を確立するため にない。 には、 のとで、 をである。 でのとで、 をである。 でのと、 でのとで、 をである。 でのとで、 をでいる。 でのとで、 をでいる。 でのとで、 をでいる。 でのとで、 をでいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。

國會け

ふ召集

本を整要して、 本を表現の をを表現の をを表現の を表現の を表しの を表しの を表し を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの を表しの

支店 本店

大連、

新京電話 20一

大街四

壽

【ベルリ

新內閣

0 K

永續性

無疑を致行せざるを得な に業固な防備を施してゐ るのだから獨軍は英國が をでする。 できる。 で。 趣旨を闡明するものと

市 (根然猛烈となりいよいよ句が 日中に對英上陸作戦を敢行が 日中に對英上陸作戦を敢行が 可以 対策学に最後の止めを 利力ことにならうと像へて ある (倉) 貫はヒトラー 穏

の急迫と米関政府の孤立政 策とに鑑みかなり強い國内 の反對を押切つて現實を基 調とずる極東政策の轉換を 調とずる極東政策の轉換を が論根本であるとはいへ相 常の英斷といへよう、勿論 常の英斷といへよう、勿論 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへ相 であるとはいへれ

【ベルリン十八日愛園通】 総統大本營十八日正午發表 一二二沖合のド・サン島に 上陸せり

全帯に誇る

新京ミルクプラント

▲松村産站氏

日 シンガー 附屬品一切 各種國產 特別市六馬路へ朝日通) 中古ミシン販賣 ミシン版一賣 話(四)三七〇六章

その日





を信じよう を信じよう

上の方での國策會議、

の日本をい



り見れば頼り 一年強となっ 一年強となっ 一年別までの 日九十九日强 日九十九日强 日九十九日强 日九十九日强 日本内が加はつ

を防護美蔵三つ ・出されてゐるか ・との漢でま

粉の通帳制質施に献身的活 、引獲いて今文防衛訓練 には防護園員として梅の助 には防護園員として梅の助 を配をかへりみるところが なかつた、然るに去る十一 なかつた、然るに去る十一

日第一回空襲を戦の登せられた時病队中の三男清康さん(三)が重態に陥り看護中の美女は驚いて街に活動中の夫に急報、かけつけた中の夫に急報、かけつけた中の夫に急報、かけつけた中の夫に急報、かけつけた

を感謝せしめたが、変見の危態を を感謝せしめたが、変見の危態を を感謝せしめたが、変見の危態を を感謝を強して が、これを観して 一新京高等法院 でものたが、変見が腹部病気 のため危寒とが腹部病気 でものたが、変見の危態を を感謝せしめたが、変見の危態を を感謝せしめたが、変見の危態を を感謝を がらの念

陰さころ

が交錯して急にあたりが膝々しくが膝の道場からボロ嚢質=1々の歌師機か三機変き消して演習中の歌師機か三機変き消して演習中の歌師機か三機変き消して演習中の歌師機か三機変

須に行

つて閉式した ではらひ式典後當 はらひ式典後當 がした でででする。 変にはらび式典後當 がした ででできます。 がした でできまする。 できまする。 できまる。 できまる。 できまる。 できまる。 できる。 できる

の偏執二日の信言を発見る年度 者られ慰城の多た電子

から同局長室でか は、住作張靖で

賞品授與或「ほ入選作に近く新京音樂院十九日正午」賞金及び賞献を授與したな子、楊豐林」を暴行覧局長からそれぞれ

式で一般に公開される

ス貨物車衝突

10

9日の出町方面に疾走し来「儲蓄報園は保險から」の 寛城平方向より課前を右廻 突破 奉告祭 一宗四四號トラックが 満年の一億圓

京中の全議各支部長一同揃京中の全議各支部長一同揃

事長以下全社員並に目下上 十九日午前七時から高橋理

凱旋の

日近づき

聖汗の意氣揚る

北安省部隊の動靜

年學齡歷

女子



城内二道街文廟の隣に惠まれざる壁壁をつけて明年度 教育に先鞭をつけて明年度 から盲壁學級を新設することになつたので来る廿九日 から七日間盲煙兇盗教育相 談遇間と銘打つて毎日午前 がら七日間盲煙兇童教育相 がら七日間盲煙兇童教育相 がら七日間盲煙兇童教育相 がら七日間盲煙兇童教育相 がられて四名の壁壁學童を では八十四名の壁壁學童を

でこのほか明年度からは傷寒軍人再教育施設も行はれ来は益す進んでゆくことに来ば益す進んでゆくことに

綜合本訓練第

のみならず盲人にも福音を を與へ幣來は授産部をも新 を與へ幣來は授産部をも新 を與へ幣來は授産部をも新

高縣出身)の現地入り 高縣出身)の現地入り を皮切りに陸劃現地に入つ た滿洲建設勤务率仕除一般 を皮切りに陸劃現地に入り た滿洲建設勤务率仕除一般 を皮切りに陸劃現地に入り た滿洲建設勤务率仕除一般 を皮切りに陸劃現地に入っ た滿洲建設勤务率仕除一般 を皮切りに陸劃現地に入っ は現地は勿論日滿極國民零 に現地に加汗を絞り を放りに大統領と名 を放りに大統領と名 を放りに大統領と名 をと東亜の姿をのまるが、遠 もしい限りである。北安省 もしい限りである。北安省 を表した統領と名

バスの廢車使つて

至急讓店

自ン

国みに新京に於ては八月二三の兩日、奉天は六日對抗 三の兩日、奉天は六日對抗 試合が行はれるが同籃球隊 はコーチヤーに東亜競技大 會日本代表のコーチャーを 程信君は日本代表のレギュ デー選手でありその他延禧 の他延禧

協力の下に自體防護の完べた、森ガスに包まるとの想火、森ガスに包まるとの想と下に防護側、居住民一致

い生活ではあつたが去る九日業男率公職警察班として 石葉を受け経訓練を受けた 養職量として活動中かねて 療職員として活動中かねて 療職の身であつたところ猛 臓炎のため翌十日十一時死 した、君は康徳五年十一 に班長の職務を代行し率公 に班長の職務を代行し率公 に変して来たものであ ではあったが去る九 大経路分融第六班警 をして活動中かねて をして活動中かねて をして活動中かねて をして活動中かねて をして活動中かねて をして流動中かねて を整弦酸立以来でも の監察を代行し率公 がして来たものであ であったとも見られ首 でもたとも見られ首

賞品授與式

禁煙小唄を公募その したが、新京市内在 照を公募その當選者 のの外風を禁止させ

き重大時期にあつて同文単民族の親善總和を馴る

夜合唱團の「あじあに霧原上員の夕と浪曲、琵琶鏡川具の夕と浪曲、琵琶鏡川 歌音唱

。(日曜土)

興亞書道展の異彩

和 本年度簡別監呼令達者中左 脱役上の国出手續未了の為 告首称警察廳兵事股に出順 急首称警察廳兵事股に出順 方は首都警察廳兵事股に出順 一つ五〇)迄知らせられた

滿鐵社員 のタ



藤先生が張岡務總部

映充進む

李秋九月には悠々州萬突破 今秋九月には悠々州萬突破 日系七一%、端系一一。 一%、鮮系二。三%、そ 一%、鮮系二。三%、そ で最近の満系聴取者の割合をみると 日系七一%、端系一一。 満一百百合一組製末後子人 作品一〇/三、朝吹女子人 作品一〇/三、朝吹女子人 作品一〇/三、朝吹女子人 作品一〇/三、朝吹女子人 の源味」へ八・〇〇(東京)ピ アノ獨奏「奏鳴曲」三長頭 作品一〇/三、朝吹女子人 の源味」へ八・〇〇(東京)ピ アノ獨奏「奏鳴曲」三長頭 作品一〇/三、朝吹女子人 の源味」へ八・〇〇(東京)ピ アノ獨奏「本明のの東京)と の源味」へ八・〇〇(東京)と の源味」へ八・〇〇(東京)と の源味」へ八・〇〇(東京)と の源味」へ八・〇〇(東京)と

鬼奇鬼る

0

同數

7五名)午後三時、7時陽から 二十日) 使

見江

? 處何金藏理

團體往來 (十九日)

午前七時五十四分哈田や清津電氣機院(卅三名)

(一四八名)午前七時子動勢奉仕除八ヶ嶽農場が

新京特別市長 金名世 一七日附) 一首都本部長 一丁都 一首都本部長 丁都 一 本部では子前市長に代り今長の更迭により協和會首で 新市長を本部長に迎へるこ

夜間部開設

りますドシ 白ゆり洋教研究所 白ゅり洋教研究所 りますドシ〜御入學下さいは、一夜間部を開設開講致して居職業戦線に立つ婦人の御要求でい 1、水人御來談の事 美女給さん大募集

電話 (2) 三大四点芸術 連 丸辰

醤油

画社

思ひつき馬車 一臺初のお目見得

亚公山 五

首都本部長更迭

一部 一部 内で 「おいった」 第一十七八歳より廿三四歳までの明朝な美聲の内地婦人に限る。 新科での傾面談・希望の方は本人来館あり 説町新京キネマ

福

生世ールは ニュウシンキョウニュウシンキョウ

第新 三笠町 目 **技場所**一、事務所向、大倉庫向、
一、事務所向、大倉庫向、
一、事務所向、大倉庫向、
一、事務所向、大倉庫向、

病 食ハ 菓乳

下の自轉車!! 土 自 轉車 自轉車 に大異變 優秀と堅牢と耐久性で 代 理 店 松田 商 會 新京豊県路三〇二 显新(2)回七六八

電3 六八九七 電多概七〇四 此務會計 調會長 松長

事務係採用 12 |四|四 後 會

申込所一長崎方

松村方

(日 服 土)

は関いていた。

その業園の外は左の頭り とその業園の外は左の頭り子が断然人氣を示 機祭に参加したのはのり子 のはのり子が断然人気を示

本るものも来るものも来るものに 大きながり、ションの氾濫から 大きながり、シャばかり ではどうでせられてはピクタ であるますが、 などうでせらが、ご であるデキーから来月にかける相言要は であるデキーがリー・クラ あるだける相言要は などうでせらか、ご を記して世野に上る人

谷口、櫻井、飯山 地球に朝が來る」に演奏 してぬますからその片葉 を知ることが出來るでは が光つてゐるさらです が光つてゐるさらです が光つてゐるさらです を知ることが出來るでせば 下の全盛です、身體が幾つ 子の全盛です、身體が幾つ 本面日夜日本青年館に「二 千六百年奉親輕音樂祭」が 手六百年奉親輕音樂祭」が

淡谷、笠置

そのうち彼女は継城した、そのうち彼女は継城した、そのうち彼女は継城した、なくなり、彼女に大きなおりしてゐた。めでたく子供が生れたのだつたが、めでたくなく、彼女は男と離婚したのだつた。おまけに更にめでたくなく、彼女は男と離婚したのだつた。おまけに更にめでもの後彼女は8市に来て8會したのだと思ふ。この頃も時にかったからかなり流行つためだと思ふ。この頃も時にかだと思ふ。この頃も時になったからかなり流行つたがと思ふ。この頃も時になったからかなり流行つたがと思ふ。この頃も時になったからかなり流行つ

(三)

八月の軽音樂の住作としては次の三曲

「頭日の干傷」を整備祭文 化映監コンタールに出品、 一等に営選したものを記念 して科學的要素を盛つた側 して科學的要素を盛つた側 を整要作することとなり 一般よりシナリオを募集す る、なは同社作品は委託に よる配給が行はれてゐたが 劇映畫製作

國民の担 12.00 3.33 7.06 大楠公 12·21 3·54 7·27 十五日より・十九月まで八十錢均一

12 22 4 00 7 40 士 2.00 5 38 9.17 十七日より・十九日まで・料金五十セン

がある!!

12 00 2.45 5 30 8.15 8 45 6.50 17日より・19日まで料金50セン 私には夫がある 雲化 粧

未完成交響樂

表つた、それから二年ほど を認過した。 して更生したのであつた。 そして自分でも株をやり、 この間は何千圓か鑑けて自 空に電話まで買つたのださい。 をに電話まで買ったのださい。 をに電話まで買ったのださい。 をに電話まで買ったのださい。 をである。私は出張で且市 の加爽茶店で「商談」をやって数し方がなかつた。 が見えることは何とも のお婚の際に出来た。彼女にはずつと前の最初 のお婚の際に出来たで、まし でまた歌は作ってあるのだから。 しまった、私は忘れてる た「まだ歌は作つてるます かく」と訳くことを。少し かくことである。

1.58 5.18 8.48 十七日より十九日迄 料金六十銭均一







造修田深。出版 山陶・本脚 作傑の前空京東興新

!! 會大版華豪特超西東與新 苦惱があり涙があり涙がありにったの告白だいこうに ユウ に女性として社會への憤んびで告白する胸えぐる一言ないで告白する胸えぐる一言 つ言地

代行幹



新 編の小平大をよく知つてるめ た、それも至つて意氣の合め た、それも至つて意氣の合め た、それも至つて意氣の合め た。それも至つて意氣の合が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、その小平大は、半大が、というない。

各地商品市次

克 12.35 3.18 6 01 8.44 部 1.07 3.50 6.33 9.16

11.30 3.05 6.41 12.03 3.38 7.15 1.30 5 06 8 41 10 10 十七日より十九日迄 階下五十銭

●六白の人 不注意より温 ●六白の人 不注意より温 は図 東と西と異が図 は図 東と西と異が図 は図 東と西と異が図 に出で、足の思ふ線通ま に出で、足の思ふ線通ま で、足の思ふ線通ま で、足の思ふ線通ま で、上のとでは大抵の事は で、上のとでは大抵の事は で、上のとでは大抵の事は で、とでは大抵の事は で、とでは大抵の事は 高超丰本

東京株式(短期)

均私豆市况

每外經濟電景

溢横味快。盛。趣興。我新

高最が番八十郎壽寬嵐王氣人 く續にルリスは篇丈萬瀾波の餘間時二!か嵐か雨





先週宜昌泰回を企圖せる を表するまでの敵の攻勢はら をあどみられず、佛印國な が立ったが、佛印國な が立ったが、佛印國な が立ったが、本日に での敵の攻勢はら での敵の攻勢はら

一、保田、ビルマ、香港等 一、保田、ビルマ、香港等 一、近衛内閣の出現により 強期される日本側の軍事 他関係的攻勢の選化 いた現下時局對策に關し策 である日本側の軍事

消極的には に関する對策 について検討するとともに に関する対策

外情勢の急慢 等につき協議と 等につき協議と がないための がないための がないための がないための がないための

近に関する中共

一、海軍航空部議は安慶東 京都市方面であり、 一、海軍の大阪の 京都市方面では、 のでは、 の

K 社

值發行

て調修を依頼

では のの外交工作 のの外交工作 のの外交工作

一件つて過版五千萬画」 限度機張調印

支那事變情勢の概要左の如 北月十二日以降本日に至る 七月十二日以降本日に至る

物心共に創痍顯著

地の信徒は目下徴々変集し 市の信徒は目下徴々変集し 地の信徒は目下徴々変集し 地の信徒は目下徴々変集し ある監別をまた尠からざまるをのがある。 関方面の治安の確立によっます。 地の信徒は目下徴々変集し

てをり、また中支においては南澤線道の修水大戦機が 去る十五日わが軍の手によ り修築完成をみてをり、地 政府の内容の堅實なる育成 と共に政治力も次第に強化 され上海租界内に策動中の

た對外政策の强化と國内 製作より重慶政権はいまや 後の鼓路に到達せるものと みられてゐる

及法律顧問 事

般

注

律

#

務

20

話日

③通

二八八八五山

場に多大の海ば ちことはその神

るることを示す 地位が大第に 地位が大第に

ものである。 がくの如く大陸 がくの如く大陸 がくの如く大陸 がくのから力は 変形の政治力は 変形の政治力は

重慶僞政

中文鑑於報道部十九日正午 中文鑑於報道部十九日正午

財政の ・ 本の ・ もの ・ 本の ・ もの ・ 本の ・ もの ・ 本の ・ も ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ も ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ も ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ 本の ・ も ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ 本 ・ も ・ も

敵陣地猛爆

農事訓

練所

職員を増員

の關

長期戦略態勢に

大きれた満洲における日満 一上と張満洲図々務總理との間 一上に関する議定書は十九日 一上に関する議定書は十九日 一上に関する議定書は十九日 一上に関する議定書は十九日 一上に関する議定書は十九日

新省情報部では十九日午後 本十九日午後二時新京に 本十九日午後二時新京に 本十九日午後二時新京に がは「大使、張凱務 がいて梅津大使、張凱務 がいて梅津大使、張凱務

とに偏即変下洲も

を要島の煙を大きく吐いて と要島の煙を大きく吐いて がら奥に消えた

【南京十九日遼國道】日支 十九日午前十時より國民政 府内の會議室において開催 病國交渉委員列席、第二回 會議においてわが方より提 示した基本的事項ならびに これに附隨する重要事項の これに附隨する重要事項の

時敵會した 同會議は四回に亘る公式 同會議は近でその間に個別 が進行振りを示し、既に とな進行振りを示し、既に に入つてをり、今後一兩 に入ってをり、今後一兩 に入ってをり、今後一兩 に入ってをり、今後一兩 に入ってをり、今後一兩 に入ってをり、今後一兩 に入ってをり、今後一兩

日滿合辨通信命

設立協定修正議定書

意見完

去、松岡氏は居殘りさらに近衛公と打合せを行ひ八時卅五分辭去した

閣僚銓衡も新體制

曾議を了へ近衛公語る

圓滑に進捗

は次回は十一

一日開催の数

豫

極東政策轉換

滿州興業證券

外務辭令 東京義國 大使館一等書記官(ソ聯大使館一等書記官(ソ聯

滿州國在動~命ず。好富

正臣

滿洲工廠幹部更任挨抄 模元社長山本盛正、新社 長元群務取締役成本富士 長元事務取締役成本富士 長元事務取締役成本富士 五年務別の第役元常務 和第2本内出の三氏同道

のことの代金後継の向は一ケ年二十四個

往來

英下院の質疑應

答

こみられるに至

量と関する基

終了、晩餐を共にしたる後吉田海相、東條英機中將は午後七時五十分辭の基本方針につき協議の結果四者間に完全なる意見の一致をみ同六時半公を中心とし陸、海、外三相候補重要國策會議は事變處理、國防、外交、東京發國通

【頁二十刊夕朝紙本】 印編 菱 剛 概 行

料度宣水 金告價紙 特普到一 新京日·日新聞社 新京日·日新聞社 和 波 祭 忠 入 和 波 祭 忠 同一一クタ 行月月 二円五十銭 銭円

外が

急

の要望

速急解

福州國政府は近衛内閣の出 現に對し多大の期待を寄せ 現してゐるが、差し當り日 でであるが、差し當り日 でであるが、差し當り日 一、 生産力擴充計学 造化 日満兩國の生

松岡外相歓迎 にロンドン十八日愛國政府筋 地部は未だ現はれないが松 は本だ現はれないが松

勝來の恩賞事務収扱ひ方法

英政府筯

い田そに歌のそ脱にと るれも迎所の退もも も程同の有人の多と の急氏意者と際く外 と激のをでなはの務

對支貿易協議

會

一體の結成案決定

一作に着手

つて迎へられてめる関係-

が 係上好感をも を も

日支交涉會議

より左の如

第五回具體案文審

チャーチル首相 日本の好 な全然知らないと申し上 げた方がよいかも知れぬ でもないといいと申し上

ホア・ペリシャ議員(自由 満別陸相)この譲歩によ り日本の好意を確保出來

(1267)交銀六ケ月の英國戰時財政

(1368)シュペー統自模背後の陰謀

(1266)米酯に於けるフヂオ耐鉛

を重ね午後二時散會

を中心議題として種々協議

でを行府可を洲極來狀承鵬な打んさく畫れ兩金

十る保護預に如なとく物經迷の又でつ母計撤

理制は対応的ない。 地が高されている。 は他のでは、 のでは、 のでは、

(1271) (1272) (1272) (12774)

(1978) 発送の落下車部除と 意味下用機と

多 最近既

刊▲

新京祝町宁目軍魔事 製 A の賣寒、致み精々御利用であ 電話〇二六四四番

法制處では暫行民籍法の制 定に關し慎重審議を重ねつつあつたが此程一應審議を 終了したので近く國務院會 職に上程、所定の手續を經 て公布來る十月一日より實 で公布來る十月一日より實 答が行はれた クエル・ペーカー議員 (今 を解してよいか を加へたものであるから を加へたものであるから を加へたものであるから を加へたものであるから を加へたものであるから を加へたものであるから をか加へたものであるから であるから 民籍法 (ニューローク十八日發展 前に獨、伊、ソ三國外相會 能がベルリンにおいて行は たれるであらうとの報道がローマの一部外交前より像へ られてるたがD・N・B、 タス、テァアニの三道信祉 一斉に行はれる臨時國勢調 査の戸口調査簿をして使用する事 に民籍簿として使用する事 會談は虚報 獨伊 より實施 向胃 箱耳 人質 B. 京

●観業法に依る正規契罰並手載出職 技術正確·責任出願 人には語野を要う 社長 八鳥通四 上方鑑次即 せず

趣意 書 進呈 大阪屋號書店

東京市麹町區有樂町東京市麹町區有樂町

露西亞語基礎單語四〇〇〇

(1258) (1259) (1260) 国際 種様 (1259) (1260) 国際 種様 (1259) (1260) 単位 (1260) 上版 (1260)

(1262)米面の興論投票

(1261)英國の金掲編助制度と翻書

(1263) 競気 (1253) 競気 (1253) 競気 (1253) 競気 (1253) 競気 (1253) です。

(1264) 戦時下英順のお連續第二

係歐米名著略解

(1270) 戦争し英國中基階級

(1269) 英國の観費調達に就いて

(得離さ好資料である「軍檢閱濟」 とんなところか?同氏の屋和な見聞によつてその謎が とんなところか?同氏の屋和な見聞によつてその謎が である「軍檢閱濟」 のた無調から漢河に至る に加なところか?同氏の屋和な見聞によってその謎が

した。アジアにのつて之で漢河迄行けるのかの用意の簡単なのに動をして漢河迄行けるのかの土室には砂金を顧むして、本人なに簡単に砂金がそんなに簡単に砂金がそんなに簡単に砂金がそんなに簡単に砂金がそんなに簡単に砂金がそんなに簡単に砂金がそんなに簡単に砂金がそれたのを思り出して

及ぶ限り水も満る時としまった。翌朝は

平原の中にタッキリと屹立 が珍らしく、殊に事窓左側 が珍らしく、殊に事窓左側 が珍らしく、殊に事窓左側

た事もあつなので之は絶好 だらうと の機會だと想つて早速行く ジャケタ 事に決めた。 押込んで 中でも歩

れば下半期輸送繁忙期におる疑問で一方石炭、礪石選 質の植上げその他の増収策 る疑問で一方石炭、礪石選 質の植上げその他の増収策 をその實現性は危ぶまれる ので結局豫算より三千萬圓 と見られたものである 区に貨物收入減は免れないも のと見られたものである 区に貨物收入減の主なる原 大材、石炭、礦石等低速質 が豫定より少いこと等が零 につきる。

收入は旅客收入の激増(前 を比四割八分増)の反面、 を比四割八分増)の反面、 能妥量の増加に物らず前年 能妥量の増加に物らず前年 にの傾向は補酬圏の資金 りこの傾向は補酬圏の資金 安東省特産の作<u>電</u>層系の活

車薪東崎々營子に出油以来 とは、 は調五ケ年計畫の糖支強化 一、現下内外の諮情勢では 養金、養材の手電が困難 なること

一、現下内外の諸情勢では 養金、養材の手當が困難 なること たして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと をして卑新油田は今のと を正での止むなき 歌氏 本面では なること

かされた。 此の演北、北黒線の治線 にもモンベを導いて野長仕 事をしてゐる人々の姿が方 方に見受けられて力麗く感 じた。











等を附識決定 等を附識決定 等を開業との座談會を催 主建界の進行状態、對 主建界の連行状態、對 主建界の連行状態、對 を遂げ業界の發展 を遂げ業界の設度 を遂げ業界の設度 を遂げ業界の設度

伊國輸入鹽

就樂生堂HS線新京療院 治療法によられ

排人病、溶膽症、皮膚病、胃腫病、 治療は責任ある根 評判の新胃腸

句ひこぼれる髪――静らしい髪ー 御營案內菜 被 * (3)代 京 第

福 然及 市內 報時源 淡及薄於 新京富士町二丁目二十七番地 0.00 杜華

各地株式市况 各地株式市况

を記述されている。 をこ述されている。 をこ述されている。 をこ述されている。 をこ述ささいる。 をこ述ささいる。 をこ述ささいさい。 をこ述ささい。 をこ述ささいさい。 をこ述さいさいさい。 をこ述さいさいさい。 をこ述さいさいさいさい。 をこ述さいさい。

田島醫院 藤本ミツノ

入院室完備

與安大路四1九

は必ずながやかしき前途 は必ずながやかしき前途 は必ずながやかしき前途 は必ずながやかしき前途 は必ずながでれ、吾が客を は必ずながやかしき前途

ましたが此の組織には対
て大る不便を験すことが
ありました。なんとなれ
ありました。なんとなれ
がは等の階に関し新らた
をる心持を以て此種不便を
横の飛行士として活躍し新らた
たって今や何等の選異なく
同一の部力を有する者となったのでありまして各党軍
となったのでありまして各党軍
となったのでありまして各党軍
となったのでありまして各党軍

あります。 あります。

現状であります。 現状であります。 現状であります。 現状であります。 現状であります。 での設期間に於てエチオピーなれるものなりしも不拘異に定評がある。 なれるものなりしも不拘異に定評がある。 なれるものなりしも不拘異にを評がある。 なれるものなりしも不拘異にを認け他界各國と であります。

江

戶

中間に三十尾は釣れる
中間に三十尾は釣れる
中間に三十尾は釣れる
中間に三十尾は釣れる
に解禁しであるが、ぶりだつたにも拘らず糸をに解禁しであるが、ぶりだつたにも拘らず糸をであるが、ぶりだつたにも拘らず糸をでは十八振乃」の質問では本年初めての試

みではあり越多は困難とみられてあるので一般市民の ちれてあるので一般市民の がは放流當時日本で一尾八 なってをり、牡牛河は新京 の所にあり附近は山紫水明 の所にあり附近は山紫水明 の前遊で家蔵づれのハイキ としても好適とされ

経済な使方
っす。それで空艦を利用し一方に細い穴をあけるの中に磨き粉を入れるの中に磨き粉を入れるの中に磨き粉を入れるの中に磨き粉を入れるの中に磨き粉を入れるの中に磨き粉を入れるの中に磨き粉を入れるの中に変きがある。

をして適當なる

たので

操縦する飛行士の る他全であります の精神に燃ゆる新 少年の胸中には楽 ・動にきざみつけ

られが禅

塞出婆れよか来なりい

ででは日々の献立に努めて香辛料を使ひ香氣の高い料理を一、二品そへるのが一番効果的です例へば同じた澄川にしても、スープ仕たでして視に盛つた上に初いたという。

公室

大きいでは、大きさいて大きないで、別別のでは、一般ので

るだけこのはやものはよろしくる を関しても別させん、音通の食べ物を をしても別させん、音通の食べ物を をしても別させん、音通の食べ物を をしても別はなかへり見る必要がありません、そ で早く超し夜はやものはよろしくる ので早く超し夜はやものはよろしくる。 ので早く超し夜はやの代りを を高が、小さい子を無暗との機會に母親ない子を無暗との代りを が、小さい子を無い子を無い子を無い子を無い子を無い子を無い子を無い子を無いとしがあるか。 で見る必要がありません。そ ので早く超し夜はその代りない子を無い子を無い子を無い子を無い子を無い子を無い子を無いとしがあるが、これからは、夕方

夏は之に

か

夏と子

供

體

し今秋どつと全満各地へ費出されることとて安價な協和服提供に必死の努力を持つて、「何日になつたら協和服は膨くなる?」と

なった生必會量がやらやく十三萬者の服地を獲得るた生必會量がやらやく十三萬者の服地を獲得

に

も手落

あ

x Z x

× O

× 問× × 題×

生火 本料課では今 ・ 大を主に協和服地を集めた ところ十萬着分に達しなほ 又大阪方面にある監製服の 輸入に塗力、この程商工省 を得て三萬三千着の輸入を 許されることとなつたので も関内分と合せて約十三萬羞 の配製服が九月頃からずお

五十個から最高七十個迄の 見當で、大きさも大小五、 六種作ることとなつてゐる ので大男、小男もお補ひな しに求められるので早くも 一般ではその出現を待ち佗 びてゐる、之に付て「今度 こそは大丈夫」と同証岩田 支配人と衣料職員は交々語

はるやうにしたいものです。 の間位とする、これ以上盤せ ります、午後三時過ぎには があると夜更しをするやうにな ります、午後三時過ぎには

在が現地に行って変渉、 大阪の分を明石衣料課主 大阪の分を明石衣料課主



今秋一齊に賣出す

.

需

給

極

ることも必要です、脈ਆの 不足は翌日すぐこたへると いぶ程ではありませんが、 度重なると身體に影響して 夏痩せとなり、殊に潜伏性 の淋巴酸精板のある子供で すと往々活動性になつて悪

睡眠については一應考へて が、一寸自轉車を乗り廻し が、一寸自轉車を乗り廻し です。 をは期合少ないものです が、一寸自轉車を乗り廻し

時間も二時間も整てるると ないよ子供は一見丈夫でも注意の必要があります。 また海水浴で日贈りをするときに数果を上げるため減米減茶にやらせて贈りをするためにつかれて子供 ものためにつかれて子供

す。 はまひます。この場合 といきなり熟を出した といきなり熟を出した でるながらかへつて でるながらかへつて を でるながらかへつて でるながらかへつて

名

物

暑さに負けず

お腹を損さず

うになつて 又毛髪の中に天瓜粉

靴の手入れ

0.

温動したが

に御買取り間で今秋は間間で

なりますまい なりますまい

ちなくなりましたからなる らなくなりましたからなる くた例にして長く腱くや う心掛けませう、ゴム靴は ですから汚れてみたら冷水 で洗び落し風通のよい日盛 で乾かします。周いタッシ などでゴシゴシ掘つたり、

を助ぎ大変永保ちします。し まふ時は演を浸した布で 外側を拭き、布に包んで 特別を拭き、布に包んで ががが出来たりするの をかがが出来たりするの

「あせもぐらる」と無く考 へるお母さんもありますが 小さいお子さんにあせもが かだく出来ますと、気持が 思いためにいらいらと神経 関になつてむづかつたり安 駅が出来なかつたりを はなったり、愛熱しておできに なったり、愛熱しておできに なったり、変熱しておできに なったり、変熱しても多りますと あせもだ ル分手當しませう をかき易いからこれは根本 的に體質を强くするやう報 をかいたらその都度ホウン をかいたらその都度ホウン をかいたらその都度ホウン とかいたらその都度ホウン ない で

5 ぞね

しほりを

は氣持よく洗つて 若返りに邀當な獺品です

を にしたり、汗が出たのを にしたり、汗が出たのを にしたり、汗が出たのを して汗をかふせぬやう、 さことです を ことです とことです は 酸を洗つてや ることです は して汗をから は して 汗が出たのを まずから は して 汗が出たのを まずから は して 汗が出たのを まずから は して 汗が出たのを まずから は しゃく に かいこう に かいこう に しゃく に し

長春座前 3

電田六七〇〇

お母様方日頃の心遺ひが

きず、食が減つて身體が弱り、特に人工栄養のよちやんは、悪ます。一番多いのは、身體が疲れ易く、脂が高より、夜糖腫夏は暑さのため赤ちやんは天々に故障を起してお伊様を魅か ろしいお腹ではしの病気に罹りあくなります。

元氣に伸びる

今こそハツキリ現れます

他不良、麻疹物 特に質用されるのが学事が命がです。 変の保育薬として弱いがちゃんや、カン、ムシ、モニネッ、選をご自分のお手柄を今更のやうにお願じになる事と存じます。 意は衰へず、身體は弱らず、夏も元気に健やかに育ちまず。を治し、安眠が出來ます。ことに胃腸を大夫にしますから、食がちやんにもラクに服み下せまして、神經の昂奮を倹めてカン 響さに負けず、元氣に成長して行く吾子を御覧になつて、必ずい頃字津敷命丸をお服ませになつてゐられる注意深いお母様は 頭くのが、何より安心です。字津教命丸は小粒で、どんな娘が従つて夏は特に注意して字津教命丸のやうな小見良薬を興へて 一〇、四〇(新京)時報 値段 値段 本天、經濟市況 一、三五、奉天、經濟市況 一、三五、本天、經濟市況

北米西部向海外放送

3

本建設狀況」(解説) 一〇、東京、常磐津「楠 、一〇、東京、常磐津「楠 、一〇、東京、常磐津「楠 、一〇、東京、常磐津「楠 、一〇、東京、常磐津「楠 、一〇、東京、常磐津「楠 、一〇、東京)時報、二 、二九、東京)時報、二 、二十二、編載 、新京)ニュース解説 、新京)ニュース解説 、新京)ニュース解説 、新京)ニュース解説

間「結核後防」

三、00(顧阅)緒人の時間「夏のみだしなみ」

の夫

同人を拾ふ(川柳)・華天香伞

三〇(大連)凉味通信

あ

大、 OO (新京) 建國體操
大、 二O (東京) ニュース
大、 二O (東京) ニュース
大、 二O (東京) 連國體操
大、 二〇 (東京) 建國體操
大、 一 (新京) 天氣 灌報
(新京) 天氣 灌報
(新京) 天氣 灌報

10

版メ

間「なぞ」(間答」理學六、〇〇(東京)子供の時

5 - 0

・・京味通信・・

(用 軍 土)

本 言へば先づ何 んと言つても 演劇が絶對的な勢力を占める、從つて演劇関係のものが自然多くなるのは止むを れてるた北京の名優連が大れてるた北京の名優連が大い、而も今まで特望されてるた北京の名優連が大

質に於て数に於て支那芝居

大船コロンピアの新譜「愛

十六ミリの一等當選に

等夏山の歌喜へ酒井菊

一等當選作

馬連良、程硯秋等々々!

日系ファンも大きな期待

◇……使命として満系大衆を野衆とする娛樂にも力を注いでをり、從來映畫以外に……◇◇……使命として満系大衆を野衆とする娛樂にも力を注いでをり、從來映畫以外に……◇◇……住憲まれなかつた満系ァアンに各種演藝を提供することを約束づけてゐたが……◇◇……住憲まれなかつた満系ァアンに各種演藝を提供することを約束づけてゐたが……◇◇……住職まれなかつた満系ッテンに各種演藝を提供することを約束づけてゐたが……◇◇……在滿日本人に演藝局會が贈る豪華な演藝陣については旣報したが、同協會の……◇

作の小説は今ではあまりにも有名で な 文學座、第一協園、前進座等の出演を以て非常な力縮を入れてゐる、秋シーズにも有名である、東遼では之をシナリオ八木保太郎、演出豐田四郎、俳優陣は一場、東遼が作る大作『小島の春』小川正子原

(塚本偕治)

指するかに

社べ佐殤した

陸職隊」の製作を獲術映畫

嚴選の名曲揃

(四)

文化映 不思議問答 近日完成 畫

電車や汽車が動き出す時や | よ第一回作品として瀬尾光朝日映畫新作「不思議問答」 | 本年度から實現することに朝日映畫新作「不思議問答」 | 本年度から實現することに対して、「大学」 | 文部省は騰栗の漫畫製作を

中島映畫今 八月一日施行 利鮮の映畫令施行細則は八 月一日公布 発雅旭山一年半で、製作 都統一技師、免許、外畫 制限等内地と同様

の機運熟す やかましくこだはつてあるので玄人仲間だけがあるので玄人仲間だけがいともに樂んでは楽んで記録がある。 あがでずで

藝術報國に邁進せしめるた

娘に凱

バテの器樂絃

で見る場所の大宗た を具現し日本藝術の大宗た る賞祿を示すべきであると 有力な能樂愛好者間に提唱 され注目をひいてゐる「梅

滿系ファン へ福音

演藝協會大活

市村第子、朝霧鏡子も参加 題名は「娘に凱歌あがる」

絶讚の朝鮮樂劇團

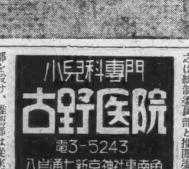
れてゐる(寫眞は樂劇團、チョゴリ・シスターズの一人、シンガ三日四日豊樂劇場に於て晝夜公演と確定、豪華な本格的ショウ

て來演を待た

一行八十名の來演は大きな期待を以て待たれてゐるが新京公演の日取りは、東京に於て本格的ポードヴイルとして空前の讚辭を得た朝鮮樂劇團〇・Kシ

愈よ國都公演、

日取決る













野

透

(=)

私が移つた當時は省線 正商店街として寧ろ傷 正の店街として寧ろ傷 正の店街として寧ろ傷

私から値かな を要君が近 を思った要素が近

神田の富山町といふ猫のの機田の宮山町といふ猫のの機田の夜店、神田明神の祭、遠くは追すな追すな追すなのが屋根の上に危く跨り雨園の川陽きを見たことは、書の下は近かった身には一人懐しい夏の順片風な記憶である。その富山町を大正十二年の長火災に追立てられて、其頃としては遠方で省られもしなかつた高圓寺へ移つた。

が終たれて了つか に風呂敷で獲つて に風呂敷で獲つて に風呂敷で獲つて しかつた れも忽ち發見され

遺産の歌立つ 変主が行方不明の記事 変主が行方不明の記事 変主が行方不明の記事 百合を幾日愛しみて雌しべより たすりなき文のあひより 寫眞落つをとめ子はつれ 日に幾度やせすねつたふ 山 本 友 一

そこに後の現實肯定の日 BANSENDEANHA BANSENDEANHA BANSENDEANHA BANSENDEANHA BANSENDEANHA が生れて來るのである。それは結局、自然主義の没著 であり、浪漫主義、感覚主 泰への移行の第一歩でもあ を以て 四半世紀前の文壇 を以て 四半世紀前の文壇 を式々するかと云ふことは 「文學の流れ」と云ふことは 「文學の流れ」と云ふことは で育定されるのである。

の生活を彼は た。彼はそれ 浪漫主義者で である。 そこに彼の そこに彼の

でもなければ又でもなければ又

と あ。即ち、リアリズムの外に を の。即ち、リアリズムの外に を のを含むが――に限を向け のを含むが――に限を向ける主義が行詰りになった時間の男と最初に出會った酒童り が。最初に出會った酒童りになった時間の男と最初に出會った酒童りになった時間の男と最初に出會った酒童りになった時間の男と最初に出會った酒童り

た。 は自分でエ で費や にはつ で表す。 であた。

ば彼の は十九歳の時、松浦辰と「東京の三十年」 小説の現實性

或る意味でのタイプであつ 「特別であったのではなく、 行動であったのではなく、 一例を擧ぐれば田山花袋の 唱道した『平面横倉』の如 唱道した『平面横倉』の如 であったのでもあり ストであつたかい判るの生立ちそのものを見

株組の不調に終つた事賞を 作品化したものだけあつて 質慮的であり、素朴である が、しかし、さらした悲劇 をたよ現象としてゐるだけ で、その現象に何等の疑惑 をも特たなかつた。まして それ等に對する反抗や批判 の大御所たる賞祿は、後年 の大御所たる賞祿は、後年 の「女教師」「田舎教師」 の「女教師」「田舎教師」 いて廻つたのである。そこに、ユインテンシブに洞察する能インテンシブに洞察する能たのである。あれ程の自然主義者と云はれる花袋にしき義者と云はれる花袋にしま義者としての破綻を自然主義者としての破綻を 数ひへと入つて行っ での如きデカタント での如きデカタント

こよには日本内地に住む半島人 動勢層の社會が克明に書いてあると でのあとどのやうに發展するか判らないが、純朴 な青年が信州の方から歸つてきて土木工事の襲場 に入つて行く、そこに町の額役といった存在があ つて幅を利かし、いろ!\態徳をもやつてあるら しい、そのやうな書き出しである。斯うした動勢 たことは意味があるであらう。作者の物を見る具 またその表現力は中々しつかりしてある。 またその表現力は中々しつかりしてある。 が親待を持つことが出来る。 (御垣衛士) を 「高麗人」第一回を 調んだ。第一 「高麗人」第一回を 調んだ。第一 「高麗人」第一回を 調んだ。第一 「高麗人」第一回を 調んだ。第一 e變つた題材であると 目が克明に書いてある と

などと、この私が思いているとし、この私が思いて

をされだら、しかも重地圏 での成績からもあつたが、 をされだほしだつた。 なは内心姉の偏狭を軽蔑し での成績からもあつたが、 をされだほしだった。 ないでの成績からもあったが、 での成績からもあったが、 をされだのに、何故此の頃 をされだのに、何故此の頃

に彼はそれを深く冷やかに は、人間が社會 虚偽や苦悩は、人間が社會 を表してある。そこ に彼はそれを深く冷やかに

がはからだの線の細い、 管の高い女だ。色も白い方 で、目の下にうすい目に見 えぬほどのそばかすが二つ えぬほどのそばかすが二つ

「私小説」といふものである。現在、横光にしろ芥澤にしろ、又既成作家の大多が印象的自然主義の影響をが印象的自然主義の影響を受けてゐた如く、やはり五十年前の平面的な印象的自然主義の特徴をその優受繼で來た作家であると云へ

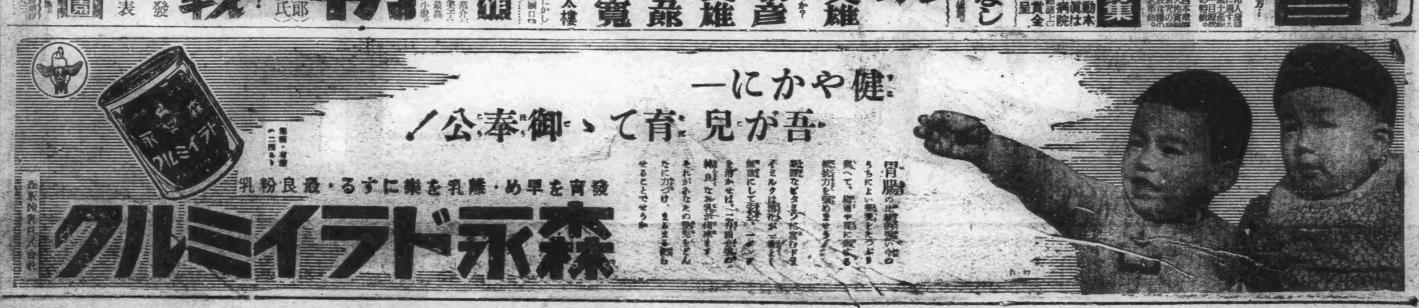
り得た程の人間――が將來 の幸福によつで男の淋しさ と比較對照して、人間各々 の個性的な人生を生きさせ やうとする意圖が存してる たのである

知れずになつててつた。 働知れずになつててつた。 働いた事の知合から遂には僕りの下宿へ轉り込んで來たの下宿へ轉り込んで來たの下宿へ轉り込んで來たのを、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳を、多少の親分氣分も手傳 関いた事であるが斯うして 男前が整ふと、これでどう とかせぬと向ふが悪い [と やら言ひながら靴屋の店を が、後に輪を掛けたその弟 の、生來の不良性を、兄弟 ご人、××銀行を襲撃した 思想關係に利用されたらし い態外を見たのは其後間も なくの事であつた。 迄懸けて買つたりを受出して来て

(=)

野を取つて若くした機な好 男子だつたが、段々金に復 してからの彼の生活振りけ 全く小説的なものであつた 彼にはカフェーに働くこれ も美人の妻君があつた。彼 ちはその貧困の中にあても





收買に適正化

資質向上圖る

6

教育相撲講習

住木斯市の 幹線道路郵失 料市整備に着手した住木 斯市公署では先に銀座海一 野に今春來驛前大通り新興 更に今春來驛前大通り新興 更に今春來驛前大通り新興 野九百米と省公署南側大通 り九百米の組製工事に取掛 り九百米の加製工事に取掛 り九百米の加製工事に取掛





任を受け山海側に楓蛇療疫は今回郷北政治委員會の委

一萬全の策を

尉らをのせ敦化、校河、永吉隆著新科長、田中吉林省計を監察新科長、田中吉林省計

をグット下げて天山雲山をグット下げて天山雲山

統監機に同乘狀況視察=

でをり中に御自慢の三千順石にかすめて飛ぶ、時に正午を過ぎる十分、夏に十四年を過ぎる十分、夏に十四年を過ぎる十分、夏に十四年を過ぎる十分、夏に十四年を過ぎる十分、夏に十四年を過ぎる十四年を

んで了な課だ。 一またぎだから

た市野地の周圍に

も熟心に難

は興安大路に新京

日目

安大路に新京中央中東京・新京を最後にやらで電々本社ので電々本社

正午参加校たる昨年度優勝 然の中等野球補州罹退は愈 然の中等野球補州罹退は愈 が、廿日

来の一つとして、 しからぬものでした でどんな人々の でとはありませ うなことはありませ うなことはありませ

のない首を振でるの前に出して耻かの前に出して来すれとソ

祝啊

0

L

選組合せ

一つとして、神々の対

H) >

寫真說明

自體防護に敏速活動 1二千六百年を慶祝すると、本 大石がら基礎演習第一日を、表會」を來る廿五日滿鐵厚 へながら基礎演習第一日を、表會」を來る廿五日滿鐵厚 本方百年慶祝國民舞樂發 へながら基礎演習第一日を、表會」を來る廿五日滿鐵厚 生會館で開催するのを振出 しに八月十三日までの間に

吉林

賽に務め、作業に何等支障を來たさず平常通り業務を織け被害を最少限度に喰ひ止めることが出來た一条亂れざる鐵壁陣は緊張裡に防護隊長の指揮の下に直に行動を開始し防護整備に一身を觸みず防火、防水賦を目指して燒夷彈、催淚彈等の爆彈を投下し、報道陣営の破壞を期せんとしたるも本社自體防護隊の

滿系防護組員も 防衛に懸命

進組員は總動員で防衛に無 ・ 本春路、城朔梅は相ついで ・ 本春路、城朔梅は相ついで ・ 本春路、城朔梅は相ついで ・ 本春路、城朔梅は相ついで ・ 本春路、城朔梅は相ついで ・ 本春路、城州梅は城内長春 協和會力强い を見せたがこの間金市統 を見せたがこの間金市統 で見せたがこの間金市統 訓練

散機 会に午後十一 衛司令部では

副統監の視察振りと國都市 観察に激騰に急がしい關屋 を関係に急がしい開屋

慶が人馬と街を包む中 のである。 の一字路に姿をみせ続

納系防護側員の鮮やかな

静消失等の悪弊を伴ひ勝ちなのを打破せんとするものだが教育關係機關の實勢學校の教育本旨の歪曲、體位の低下、個人意識の張化による國民協同の特注目されてゐる。これは從來の競爭試験は準備教育を誘致し、從つて國民高されるが、今回の會議には大學入學者銓衡法の改善が論議されるものとして

任ある推薦による銓衡方法の確立が要望され

現る一

一萬圓

新穀出廻期狙ひ

十圓彩票

力規制の見地より應急指、対策の表面では右頭正常の表面では右頭に関係を進めてある。なほれ月を進めてある。なほれ月を進めてある。なほれ月を進めてある。なほれ月を開発を通りでは右頭に関係を担めてある。

置としてその一割を有美 事としてるの一項目として改 票條例の一項目として改 要を以で交附する 事としてあるが今末の終 ので規定する事となつて

本のと、時節柄であり、香 葉がへしの代りに些かでも くち下面の厚漁に削い、か 各方面の厚漁に削い、か 各方面の厚漁に削い、か を十九日金一封を本社に と十九日金一封を本社に とれて放人の追害にしたい

家の手機を了して 来たので観東軍 の追書にしたい の追書にしたい の追書にしたい

H

されるが、今回の倉護には大學入學者銓衡法の民生部直轄學校長倉護は來る廿六、七の兩日午

入學銓衡は推薦法に改善

前九時から民生部講堂で開催

試験勉强は

無

駄

けるとき協和

一行は廿日間東軍、經濟部 一路現地に向ひ、ダライ湖 に挨拶廻りののち廿一日午 で大後廻りののち廿一日午 で大後廻りののち廿一日午 で大後廻りののち廿一日午

地震探護と言ふのは土の地震計で火薬を填めこれを爆い打つかつて撥ね返つ地下の堅い地を建立した火薬を填めこれを爆が地下の堅い地の大変を埋める。

大油經由、十九日午後五時十分清あじあで元氣一杯國都入りしたが、東大工學部教授青山秀三郎氏を班長とし工學部、建學部の助手學生からなる一行十二名は驛頭で寫眞班のフラッシュを浴びたが、東大工學部教授青山秀三郎氏を班長とし工學部、建學部の助手學生からなる一行十二名は驛頭で寫眞班のフラッシュを浴びたのち十一日午地を引揚げることとなつてしての波が観に振動を起動りののち十一日午地を引揚げることとなつてしての波が観に振動を起動りののち十一日午地を引揚げることとなってしての波が観に振動を起動られた場合のちかである。 一世代表示した第一本テルに分宿旅襲を解いた 地を引揚げることとなってしての波が観に振動を起動を起い地 地で引揚げることとなってしての波が観に振動を起い地 地で引揚げることとなってしている。 一日午地を引揚げることとなってしての波が観に振動を起い地 地に向ひ、メライ湖

今日二十日が土用の入り、選曆では 六月十六日に當る 六月十六日に當る 新京の日の出時刻 は午前五時十四分 は午後八時二十六分 日の入りは午後八 時十五分、月の出 時十五分、月の出

地下資源

です、従ってこれを行ふっていると言ふ声です。 です、従ってこれを行うで、 です、従ってこれを行うです。 です、従ってこれを行うできた。 です、従ってこれを行うできた。 です、従ってこれを行うできた。 です。 ですると言ふ声でいます。 ですると言ふ声でできた。 ですると言ふ声でできた。 ですると言ふ声でできた。

……國都振出しに各地で開催

慶祝國民舞樂發表會

間十中継病の統領を行ふこ は率天中継続制機長上呼虎

些少ですが 私たちの

話の

焼鳥屋さんの恤兵金 津商業は不職一勝となつたお果第一日の廿日は奉天商業對新京商業と決定、天商業對新京商業と決定、天

. . .

1000年

上格地所庫

全京城勝つ

にまかせません、酸出したにまかせません、酸出したくてはならないのですが、何分にまかな稼業で思ふ この人達の場局、銀組合といふのは護附属地内で中央通警察署管内で三十四央通警察署管内で三十四年あり、新らして篠栗十四年ものであることは分かところであることはありません 状々銃後に在るものム義務 十九日午後四時三分から率 大補俱球 場において田 村 (様) 赤石、高 須、吉 野 候軍勝つ、閉戦五時四十三 分(バッテリー京城=野村 任、奉天=寺島、中澤) 0二0 0三0 0三0 0五0 0六1 0七0 0八0 2九0 麻椅子カバー

足球大倉

協和煙草株式會社

特約販賣

と関代表は変々語つてるたい。 が組合員の気持だけを汲 がはならればしるはせです のですがある。 のである。 のである。 のである。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでする。 のです。 のでする。 のです。 のです。 のです。 のです。 のでで。 のでで。 のです。 のです。 のです。 のでで。 のでで。 のでで。 ん色少で却つてお手

能 森 六

商

市内五馬第一〇三の三カ州市内五馬第一〇三の三カ州市内五馬第一〇三の三カ州 主人敬治氏が亡くなり、二 主人敬治氏が亡くなり、二 を製がへしを行ふ答のところ、二見を遺され途方に迷 ろ、二見を遺され途方に迷

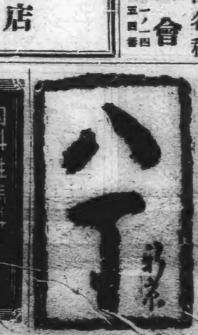
毎日午前九時より販賣開始

亡夫忌明に

に大人服より改造婦人子供服新調並 報本第早速參上 爱饭"之》七六四一 新京興運路ニノー M

小兒科専門













A 輛街

電話②二三二二一番

選に御通知申上候電話番號は誤り 地麻布團袋地 卸小賣 安森 に付右の通り御

一造氏が就任する この関際級の開通式は入 この関際級の開通式は入 三の関際級の開通式は入 でもずルだけに理論上 がいけに理論上 からは無限の遠方にまで 京興安大路六二四號

期等側電と向もさったすをと々期のにれと

移

轉

知

二人度七

士の霊仙嶽がざん切り頭で

大ぼしに日焦けして赤銅の と離取りした腕章、瀧腹の をすれた開拓總局建落處長 をリパに開拓總局建落處長

回七第

アス上高地、後、 神戸、 四日出 富 种户、 七月二 後國民の原際語 百三十五圓 湖温出 大阪、 一十八日 泉山 日間 登

京都廣場、東 東京、日光、山東京、石光、山東京、石光、 基准 崇 一見、名古

th

復闘を顕つてや

そして製物物準子してのたが、か

の英

列車発着表

聞 もたし、何から何迄胸の中にある事を言つてしまへば、あたしの本當に感謝してゐるのよ。それると思つてゐるのよ。それでれ、その人の言ふには、 △吉 林發 二時十四分 △吉 林發 二時十四分 △吉 林發 二時十一分 △吉 林發 元時二十分 △吉 林發 元時十一分 △吉 林發 元時十二分 △吉 林發 元時二十分 △吉 林毅 元時二十分 △吉 林毅 元時二十分 △吉 林毅 元時二十分 △吉 林毅 元時二十分 △古 林毅 元時二十分 △古 林毅 元時二十分 △古 林毅 元時二十分 反大阪商船山机 2000 加三特州二分 2000 大時日十五分 2000 大時日十五分 面より 概にあめましたが既職は一時治 本の際悪常に皮膚病に良く効く たが一部効目なく、後では人の 一概とうすれば治るのかとほと たが一部効目なく、後では人の 一概とうすれば治るのかとほと ひとえに貴堂の他護療法の力と只々感動が出したものが蘇く治って元通りに顕髪が出たものが蘇く治って元通りに顕髪が 頭全體の吹出物 治つて髪も生へた

仙壽療法とは

お困りの方に

秋への通り實行致しますを知りましたので早速収

女給募集

キャフエー

東一條通り

照覧のものとみえて一部な彩さに日安備まされ種けば、 横々の縁重が御風い一つた線でも水場所此所に吹出し

人々の言ふ思口に負かされ

の大連方面より

貴女は本営に世間

0 圖們方面行

の皮膚病

赤塊

豪華TE 33

ロン

亞細亞會館 TEL (3) 5713 (3) 3534 サロン エフカ大的際國

女給募 大級カフ

23 六三六三

被町二ク

野三八人物

看獲

エーン政名 東一條道銀座新道入口工場直配愛愛所工場直配愛愛所

某 内

☆ ※ 係 紫煙苗

店來人麗

特效薬 安 心 散 慢性花郷病、皮膚病、腸節 火、神經流、リクマチス 特效あり御試薬を乞ふ浪泳 町二丁目十八番塩 町二丁目十八番塩 東二條通交番的 東二條通交番的 古光堂療院

何んでも御川遠は

西の八九道 〇三九二(8)電影

集 募 給 女

L

集

L

新京県山舎道

管行 大學 健 時 第268年 〇五號 第268年 〇五號 第268年 ○五號 第368年 ○五號 第368年 ○五號 9

大和運輸公司大和運輸公司 授業が前、年後、夜間

南京計画人精維病院東側 价值 電3 三七〇一将

唐聖加合組入確京等 東製洋和 党春長

1 日曜 お婚媒介部 電金一〇八五 日 画画の日本の一人を求めたき者共に本省へ

新滿商事

電話四六四二へ

古 生

百五馬路大經路入口岩田屋 寛流 原出物デバート

印刷級帳簿 三友社

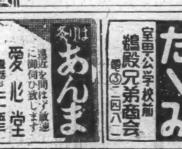


高井公司

茶と



話電 電 話 電 金融 四/一十月丁三町築水 前校夢小島八 番七三一三・8 電



聖源泰山書院 貴重な資源 古本買入 淋病に熱



あき流

わかもと

新聞度編、小兒公林 高橋鍼灸科院 化 傳統、 心 检炎。 お通うし、の一人に放合す 電③五八六五

電の語が記

東京門八方を 特に 御祖被 特に 御相被

意温泉閣







独金工商小中 速 迅 便 輕 社會式株業實省東 (大○四街大同大市別特京等 所在記) (番七一九回 ² 話電)内ルビ拓東





日本タイフライター株式會社



前二郎三十分大等分五分

サロン 0 / ーチリン 配念公會堂街

カフェ

ブランタン

1

TE L (3)24

カフェー

ミス大阪

家語(8)六一〇六

少し御用は流門の置店に報 第五四二十二五 居に報 生 好 堂

報(3)三三七八

学家 線座 第 編 に送ふ者、 本 高 優 機 店 電話3二三九〇 本 高 優 機 店 電話3二三九〇 理 と 長 堂 書 店 日本總領事館東湖

電話二

六七七三 り

御用は 木炭の

お米と

事業調査 新京與信公所 新京與信公所

番一二六五 (3) 話電

微話8 三四二個

一大書となくて、 南州党電五一三六 南州党電五一三六



建築用材料を受力である。
一定を受力である。
一定を受力できる。
一定を使力できる。

一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。
一定を使力できる。

・定を使力できる。

・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。
・定を使力できる。

新には一人で表現である。



試 製

市場內支店







度 るあ用信も最は談相側の話電 人 店話電本狭 (エカの用剤) 前店商石丸街ャイメニニノー町船入京新



